

トラノコ・ファンドⅢ (愛称:大トラ)

追加型投信／内外／資産複合



2024年11月29日基準

パフォーマンス



基準価額	15,056 円
前月末比	-149 円
純資産総額	47億2,491万 円

期間別騰落率 (%)	
1 カ月	-1.0
3 カ月	2.4
6 カ月	0.7
1 年	11.8
3 年	16.5
設定来	50.6

分配金		
第3期	第4期	第5期
0円	0円	0円
第6期	第7期	設定来累計
0円	0円	0円

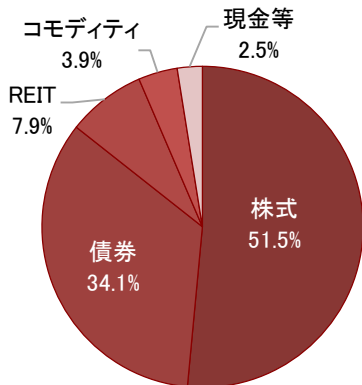
※基準価額は信託報酬控除後の値です。

※基準価額(分配金再投資)は税引前の分配金を再投資したものとして計算しています。

※運用状況により、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

トラノコ・マザーファンドⅢの運用状況

資産配分



通貨配分

米ドル	76.5%
日本円	23.1%
為替ヘッジによる評価損益	0.4%

構成銘柄配分

1	バンガードS&P500ETF	17.5%
2	TOPIX連動型上場投資信託	14.6%
3	シュワブ米国TIPs ETF	9.7%
4	iシェアーズ・コア 米国総合債券ETF	7.8%
5	バンガード米ドル建て新興国政府債券ETF	6.8%
6	東証REIT指数連動型上場投信	6.4%
7	バンガード・ミッドキャップETF	5.0%
8	バンガード・トータル・インターナショナル債券ETF	4.9%
9	その他	24.8%
10	現金等	2.5%

実質的外貨建資産の配分 61.3%

※為替ヘッジをしていない外貨建資産の割合です。

売買委託手数料等の比率 0.00%

※月末の純資産総額に対する割合です。

※3ページに掲載するリスク・費用を必ずご確認ください。

設定・運用・販売は TORANOTEC
 TORANOTEC投信投資顧問株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第384号 ASSET MANAGEMENT

【審査No.2024-1-069】



ファンドの特色・投資方針

- 1 様々な資産クラスに対してリスクに合わせてバランスの取れた分散投資を行います。
- 2 運用手法としては、平均分散アプローチを用いて、リターンを重視した最適ポートフォリオを構築します。
- 3 マザーファンドにおいて、原則として、米ドル建ての実質的外貨建資産に対して0%～100%の範囲で適時、対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。
- 4 ファミリーファンド方式により、マザーファンドを通じて運用を行います。
- 5 他のトラノコ・ファンドとの間でスイッチングができます。

市場動向

株式市場は各国まちまちな展開。債券市場は金利低下で上昇。日本REIT市場は日銀の利上げ予想で下落。

◆株式市場：米国は上昇、日本は下落

11月の株式市場はまちまちな展開となりました。米大統領選挙で大統領・上下院のすべてを共和党が制したため、法人減税や規制緩和が進むとの期待感から米国株式市場は上昇。一方、日本や中国などでは、米国の関税引き上げに対する懸念が大きく、株価は下落しました。

◆債券市場：上昇

11月の債券市場は先月から上昇しました。トランプ政権下での法人減税による財政悪化や関税強化がインフレを再燃させるとの懸念などから、一時的に金利が上昇しました。ただ、トランプ政権の人事が明らかになるにつれ、極端な政策転換への懸念が薄れて金利は低下、債券価格は上昇しました。

◆REIT：日本REIT市場は下落

REIT市場では、日本REIT市場が3ヵ月続けての下落となりました。これは12月開催の日銀金融政策決定会合で利上げの決定が予想されるなど、国内金利の先高観が根強いことがその背景にあります。

◆コモディティ：ゴールド、原油先物共に軟調

財政悪化懸念などで米国金利が上昇したため、比較されるゴールド市場は一時2,600ドルを割り込みました。ただ、中東情勢の悪化などが下支えとなり2,600ドル半ばで回復し終了しています。原油市場はOPECプラスの減産縮小が延期されたことで上昇したものの、中国の原油需要が縮小する見込みとなり下落するなど、70ドルを挟んで上下し、68ドルで11月を終えました。

◆為替：ドル安円高

トランプ政権下での財政悪化懸念から米国金利が上昇し、一時1ドル156円台までドル高円安が進みましたが、その後は地政学リスクによる円買いや、12月の米国金利下落、日本金利上昇観測が高まったことなどから、月末には150円を割り込むドル安円高となりました。

運用状況

◆投資行動

当月もファンドへの投資資金の流出入に応じ、適宜ETFを売買してポートフォリオの調整を行いました。為替ヘッジ比率の目標については、当社統計指標の動きや為替変動などを考慮し、ヘッジ比率を40%から20%に変更しています。

◆ファンドの騰落率と変動要因

「市場動向」欄記載の通り、債券市場は上昇しましたが、株式市場がまちまちな展開となり、他市場の下落や為替がドル安円高となった影響などから、大トラはファンド全体で1.0%の下落となりました。

当資料は当該ファンドに関する運用状況の情報提供を目的として、TORANOTEC投信投資顧問が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当資料は信頼できる公開情報に基づいて作成されたものですが、その情報の確実性あるいは完全性を保証するものではありません。また、当資料の運用実績・データ等は過去のものであり、将来の市場環境の変動やファンドの値動き等を保証するものではありません。当資料は事前の通知なしに内容を変更することがあります。投資信託は、株式など値動きのある証券等に投資をしますので基準価額は変動し、また元本が保証されているものではありません。これらの運用による損益は全て投資家の皆様に帰属します。当ファンドのお申し込みの際しましては、販売会社より投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめ、または同時にお渡しますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。



ファンドの概要

設 定 日	2017年4月24日
決 算 日	毎年3月20日（休業日の場合は翌営業日）
信 託 期 間	無期限
収 益 分 配	毎期、決算日に収益分配方針に基づいて分配を行います。

当ファンドにかかるリスクについて

ファンドは、マザーファンドの受益証券への投資を通じて、実質的に世界各国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）されるETFおよびETNに投資することにより、主として国内外の株式、債券、不動産投資信託（REIT）、コモディティ、金利等に投資します。これらのファンドの投資対象の値動きはファンドの基準価額に影響を与えます。**したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益は、すべて投資者のみなさまに帰属します。また、投資信託は預貯金と異なります。ファンドは預金保険および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて証券会社以外の販売会社を通じてご購入される場合には、投資者保護基金の対象とはなりません。**

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

- ・価格変動リスク
- ・ETFへの投資に伴うリスク
- ・ETNへの投資に伴うリスク
- ・為替変動リスク
- ・流動性リスク
- ・信用リスク
- ・金利変動リスク
- ・カントリー・リスク
- ・ファミリーファンド方式による留意点

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。

お客さまにご負担いただく費用について

直接的に負担する費用

購 入 時 手 数 料	ありません。
換 金 時 手 数 料	ありません。 ※販売会社において、換金額の出金に係る出金手数料を徴収する場合があります。
信 託 財 産 留 保 額	ありません。

信託財産で間接的に負担する費用

運 用 管 理 費 用 （ 信 託 報 酬 ）	ファンドを保有している期間、保有している金額に対して 年率0.33%（税抜0.30%） 。 （配分（各税込）：委託者0.275%・受託者0.055%）
そ の 他 の 費 用 ・ 手 数 料	(1) 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、弁護士費用、法定提出書類の作成等に要する費用等として、ファンドの純資産総額の 年率0.11%（税抜0.1%） を上限とする額 (2) ファンドの組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料等の有価証券取引に係る費用、外貨建資産の保管等に要する費用、ファンドに関する租税等 ※これらの費用等は、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、合計額を表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご参照ください。

<投資信託に関する留意事項>

投資信託は、その商品の性格から次の特徴をご理解のうえご購入くださいますようお願い申し上げます。

- ・投資信託は預金ではありません。
- ・投資信託は預金保険の対象となりません。
- ・投資信託は値動きのある有価証券等に投資するため、投資元本及び分配金が保証された商品ではありません。
- ・投資信託の設定・運用は投資信託委託会社が行います。
- ・投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うこととなります。

トラノコ・ファンド III (愛称:大トラ)

追加型投信／内外／資産複合



2024年11月29日基準

お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位とします。 ※詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額 ※ファンドの基準価額は1万口当たりで表示されます。
換金単位	最低単位を1口単位として販売会社が定める単位。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額とします。
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目以降の販売会社の定める日に、販売会社よりお支払いします。
申込締切時刻	原則として営業日の午後3時30分までとし、当該受付時間を過ぎた場合は翌営業日の受付となります。

委託者、その他関係法人

委託会社	TORANOTEC投信投資顧問株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第384号 加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会 (投資信託設定、投資信託財産の運用指図等を行います。)
受託会社	株式会社りそな銀行(再信託: 株式会社日本カストディ銀行) (投資信託財産の管理業務等を行います。なお、信託事務の一部につき、株式会社日本カストディ銀行に委託することができます。)
販売会社	TORANOTEC投信投資顧問株式会社

<販売会社一覧>

販売会社名	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人投資信託協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
TORANOTEC投信投資顧問株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第384号		○	○	

<ファンドに関する照会先>

ホームページ <https://www.toranotecasset.com>

電話番号 03-6432-0782(受付時間: 営業日の9時~17時)

